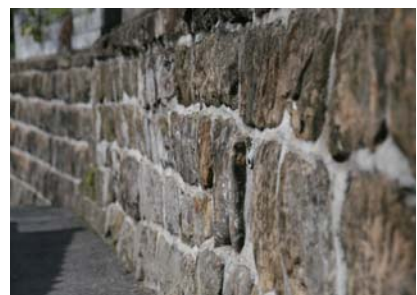
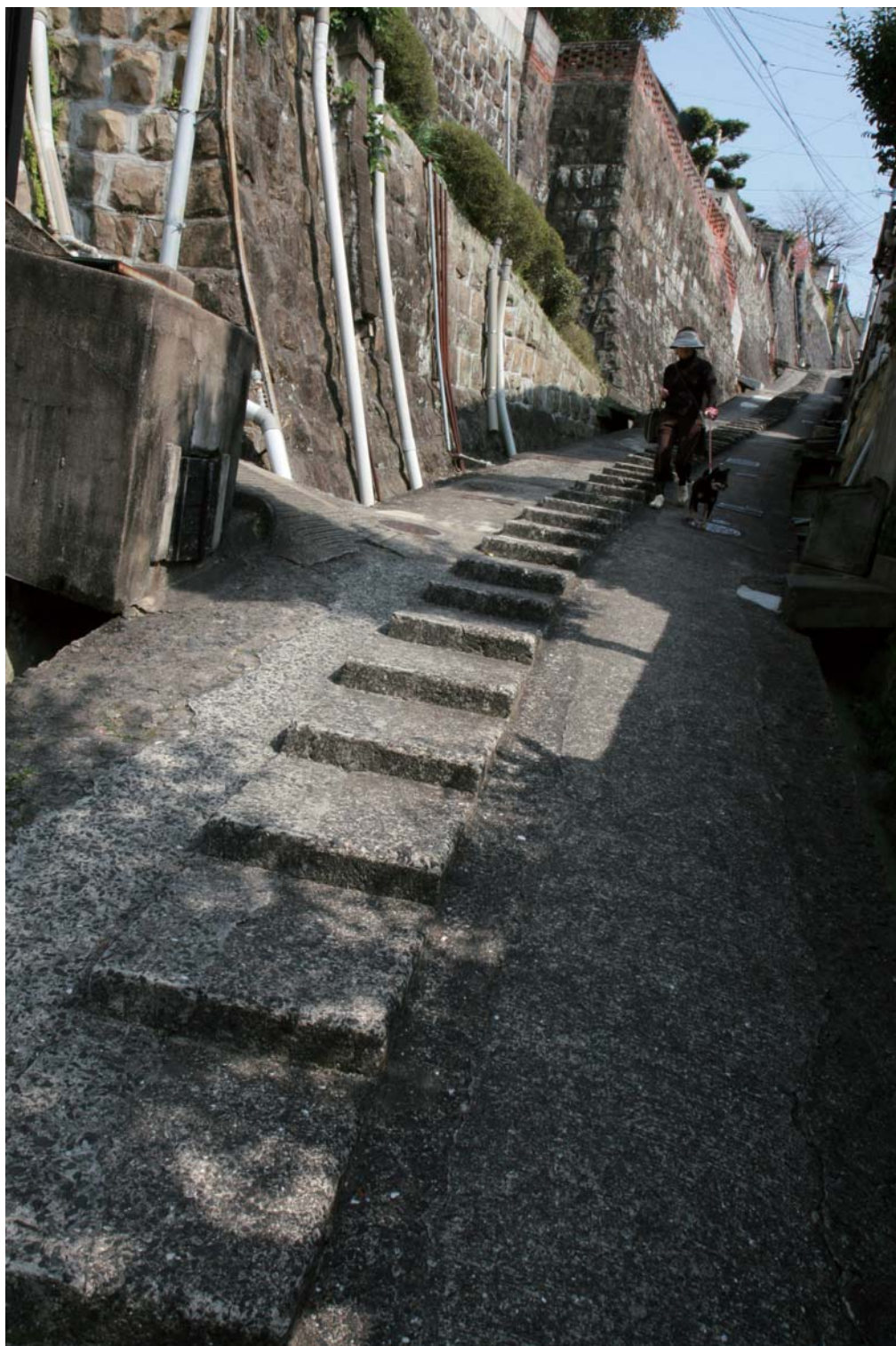


佐世保市景観デザイン賞

佐世保の特徴的な景観となっている「峰坂の平戸往還」



第十回佐世保市景観デザイン賞に「峰坂の平戸往還」(峰坂町)、「二百五十ヶクレインや赤レンガ建造物を含むSSK造船所」(立神町)、「佐世保公園と佐世保川の水辺」(平瀬町)の三件が決定し、三月二十六日、市役所で表彰式が行われました。

周囲の環境と調和し、デザインが優れている建築物などを表彰する佐世保市景観デザイン賞。今回は市民の皆さんから四十九件の応募があり、重複などを除いた三十四件の中から選定されました。

峰坂の平戸往還

峰坂の階段は、市中心市街地の高台に位置し、江戸時代に整備された街道の一つである「平戸往還」のルート上の一部分に当たります。延々と続く長い坂道は、当時の旅人の苦勞を思い起こさせる場所であり、中でもこの峰坂の階段付近は、かつての往還の名残が風情として感じられ、急峻な地形に代表される佐世保の特徴的な景観の一つとなっています。

佐世保重工業・佐世保造船所

佐世保重工業・佐世保造船所の二百五十ヶクレインは、旧海軍により一九一三(大正二)年に建造されました。高

さ約五十四ヶ、水平に突出している梁の長さ約五十三ヶ。「ジャイアント・カンチレバー・クレイン」と呼ばれるこのタイプのクレインは、国内はもとより世界でもあまり残っていない貴重なものとなっています。

また、造船所内には赤レンガ造りの建造物や六つのドックがあり、いずれも旧海軍工廠時代に建造されたものです。これらのクレインやドック、赤レンガ造りの建造物は、現在まで大切に引き継がれて使用されており、市の歴史を物語る近代化産業遺産として、「みなとまち佐世保」のシンボリックな景観として親しまれています。

佐世保公園と佐世保川の水辺

佐世保公園には大きなクスノキやサクラ、ツツジといった木々があり、一年を通じて季節を感じることが出来る公園となっています。公園沿いの佐世保川の護岸は、周囲の環境に配慮した親水護岸(階段護岸)によって整備されています。この公園と河川が一体となった広がりのある空間は、市の中心部にありながら、身近に緑と川の水辺に親しむことができる空間となっており、市民の心安らぐ憩いの場となっています。

◎まちづくり課 ☎24・1111

250ヶクレインや赤レンガ建造物がある佐世保重工業(株)佐世保造船所



佐世保公園と佐世保川の水辺

